

出前講座 報告書

開催日時	平成29年11月14日(火) 19時30分～21時00分
開催場所	伊賀市教育研究センター 中会議室
申請団体等名称	伊賀市PTA連合会
テーマ	① 平成28年度全国学力学習状況調査の結果について ② 今後の検討と取り組みについて ③ 伊賀市内の公立の不登校の子どもたちの現状について ④ 他の児童・生徒への影響について
委員会名等	教育民生常任委員会
委員会名等	森川 徹(委員長)、百上真奈(副委員長)、川上善幸、信田利樹、西口和成、桃井弘子、赤堀久実、生中正嗣、
記録者	百上真奈

【講座・意見交換等の主な内容、対応等】

自己紹介の後、市議会の仕組みや常任委員会について、森川委員長より説明をし、その後、テーマに沿って質疑応答、意見交換が行われました。

全国学力テストの結果・分析の資料を見ながら、「授業内容がよくわかる」と答えた割合が高く、授業で学習したことの振り返りも全国平均を上回っているのに、テスト結果は「全国とほぼ同じ」または「全国よりやや低い」になっているのはなぜなのか。家庭に帰ってからの学習時間が少ないことが、次のテストにつながらないからではないかという意見がありました。

携帯・スマホ・メール・インターネット等をする時間が、全国平均より低い数値になっているにもかかわらず、現実には、すぐにラインを返さなければ仲間外れにされるので、その対応に追われ、睡眠不足になって勉強ができないという子どもたちの置かれている現状がありました。

また、第三土曜授業では、「読書」のあり方について疑問視する意見がありましたが、以前、教育民生常任委員会で視察に行った秋田県横手市では、読書を通して「コミュニケーション能力」や「なぜ、この答えになったのかを説明する力」を高めていることを紹介しました。

伊賀市でも「土曜授業のあり方検討委員会」が設置されているとのことで、保護者の意見を反映させるため PTA 連合会からも役員が委員として参加し、議論しているとのことでした。

年間30日以上登校できない不登校の子どもたちは100人で、不登校になる原因は、友達とのトラブルが多いそうです。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをもっと増やして、子どもだけでなく、教師、保護者にも対応できるようにしてほしいとの要望がありました。

その他、学習障がいの子どもの数が増えているので、学習支援員の増員要望もありました。

短い時間でしたが、親としての思いを聞かせていただき、学校、行政、議会への要望、意見等も聞かせていただきました。

伊賀市議会議長 様

平成29年11月27日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

教育民生常任委員長 森川 徹